

2021年度 名古屋市ジュニア選手権大会

《二次要項》

本大会は、「競技会再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に基づき開催します。
徹底した感染予防策を講じて開催しますので、選手、コーチ、競技役員全員が本要項を確認し、これに基づいて行動していただく必要があります。
チーム責任者は、出場選手並びに保護者に対し、本要項の説明を行い、当日も指導を徹底して下さい。

【期日】2021年5月30日(日)

【会場】日本ガイシアリーナ(50m×10レーン)

		時間
開場時間	競技役員	7:45 / 1階 メインプール側入口
	選手・コーチ	(A班) 8:20 / 1階 メインプール側入口 (B班) 9:10 / 2階正面玄関
ウォーミングアップ		(A班) 8:30~9:00 / (B班) 9:20~9:50 ※B班は、通告から案内があるまで、控えて待機して下さい。 ※別紙「導線図」を確認して下さい。
団体受付 時間厳守		8:50~9:30 (本部前エントランス) ※所定の「チーム用健康観察表」提出をもって受付完了とします。 ※遅れて来場する選手がいる場合は、一旦時間内に提出し、後ほど該当選手分を、本部にて追記して下さい。 ※受付時に棄権が確定している選手については「棄権届」を提出して下さい。当日欠場し、全種目棄権する場合に限り、申込金の半額を返金します。 ※上記受付時間後に棄権が確定した場合も、随時棄権届を提出して下さい。
競技役員受付		8:30~9:00 (本部前エントランス) ※所定の「競技役員用健康観察表」提出をもって受付完了とします。 ※競技役員免除の方も、観察表の提出が必要となります。 ※救護・会場係は8:05集合・受付となります(本部前エントランス)。
主任打ち合わせ		9:15 (選手控室)
競技役員打ち合わせ		9:30 (部署ごとの場所は別記)
競技開始		10:00
競技終了(予定)		15:04
競技役員終礼		片付け後(本部前プールサイド)

【A,B班分けについて】 ※控え場所で分類(控え一覧は別記)

1レーン側スタンド使用チームをA班、10レーン側スタンド使用チームをB班とします。

【ウォーミングアップに関する注意事項】

【全員共通の注意点】※別紙導線図参照

- 本大会は、アップの時間が各班 30分となっています。このため、公式スタート練習は行わず、ダッシュレーンの設定もありません。予めご承知おき下さい。
- 更衣室内に荷物を置くことはできません(競技中も同様)。ロッカーの使用も禁止とします。アップ時の荷物は、プールサイドに袋に入れてうえで置いて下さい。特に、靴やサンダルを直置きすることは厳禁とします。袋には記名をして下さい。
- 使用できるアイテムは、ビート板のみとします。
- アップ終了後に控えへ戻る際は、電光表示板の下を通過し、1レーン側ターンサイドの出口から退場して下さい。
- アップが終了した選手から、順次速やかに控えへ戻して下さい。
- 競技中は一切プールでのアップダウンができません。**
- アップ中はマスクの着用となりますので、会話を一切禁止します。**

【B班の注意点】

- 通告から案内するまで、控えて待機して下さい。

【招集へ向かう際の注意事項】※別紙導線図参照

- 更衣室等の混雑回避のため、招集開始の案内を通告にて行います。通告があったから、控えからの移動を開始して下さい。時間には十分余裕を持って通告しますので、慌てずに行動して下さい。※チームでの指導徹底をお願いします。
- プール(1階)へ降りることができるのは、10レーン側スタンド下の階段のみとなります。通告で呼ばれた種目に出場する選手しか通過できません。※階段入口で競技役員によるチェックを行います。
- 1階へ降りた後の導線については、別紙導線図に記載していますのでご確認下さい。

【選手控えについて】 ※選手控え場所は別紙参照

- 貴重品の管理は、各クラブの責任において行って下さい。
- 観覧席では、飲食禁止となります。飲食の際は、観覧席下の通路をご利用下さい。なお、通路をそのまま控えとして使用することは禁止します。
- 館内のコンセントは、一切使用禁止です。また、館内のポスターや掲示物等には手を触れないで下さい。
- 選手は、自チームの指定エリア以外に立ち入ることを禁止します。
- コーチは、コーチ席を使用することができますが、選手の立ち入りは禁止とします。また、通路での滞留や動画撮影も禁止とします。
- エントランスは、一切使用することができません。

【競技について】

- 本大会は、全種目ダイビングプール側からのスタートとします。
- 本大会は、2021年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施します。
- スタートの合図は「Take Your Marks (テイク・ユア・マーク)」とします。
- 同一の距離・種目で年齢区分に関係なく、エントリータイムの遅い者からプログラム編成を行いました。
- 本競技会は、背泳ぎにおいて、バックストロークレッジを使用します。
なお、バックストロークレッジの調整は、選手本人が行うものとします。バックストロークレッジを使用しない選手は、その旨を自レーンの折返監察員に伝えて下さい。この場合は、折返監察員がバックストロークレッジを撤去します。
- バックストロークレッジを使用する場合は、スタート時に、両足のつま先がタッチ板に接していなければいけません。
- ゴールタッチの際は、タッチ板の有効面に、確実にタッチして下さい。
- 競技成立後、折返監察員の指示に従い、1~5レーンの選手は1レーン側へ、6~10レーンの選手は10レーン側に移動し退水して下さい。退水後の導線は、別紙導線図にて確認して下さい。